

向学

徳之島高等学校 進路通信
進路指導部 進路情報係 第5号
発行日 R7. 10. 29 (水)



第2回進路希望調査結果

9月に実施した進路希望調査の結果の一部を紹介します。進路目標を達成できるよう、学習時間や学習習慣を見直しましょう。また、1・2年生は12月に職業理解ガイダンスも実施されますので、進路の方向性を定めるきっかけにしましょう。



○進路希望

学年	調査回	回答人数	進学希望	進学希望内訳(第一希望のみ)						就職希望	就職希望内訳			就職進学	未定
				国公立大	私立大	公立短大	私立短大	専門学校	大学校		一般企業	公務員	未定		
1年	今回	64	43	15	7	1	1	15	4	10	9	1	0	2	9
		91%	67%	23%	11%	2%	2%	23%	6%	16%	14%	2%	0%	3%	14%
	前回(4月)	72	52	17	7	1	3	19	5	20	18	2	0	0	0
		100%	72%	24%	10%	1%	4%	26%	7%	28%	25%	3%	0%	0%	0%
2年	今回	91	62	16	10	3	4	29	0	16	15	1	0	0	13
		98%	68%	18%	11%	3%	4%	32%	0%	18%	17%	1%	0%	0%	14%
	前回(4月)	89	65	20	9	4	2	30	0	15	14	1	0	1	8
		96%	73%	22%	10%	5%	2%	34%	0%	17%	16%	1%	0%	1%	9%
3年	今回	67	52	9	10	1	1	29	2	15	14	1	0	0	0
		92%	78%	13%	15%	2%	2%	43%	3%	22%	21%	1%	0%	0%	0%
	前回(4月)	72	55	12	11	1	1	30	0	12	9	3	0	0	5
		97%	76%	17%	15%	1%	1%	42%	0%	17%	13%	4%	0%	0%	7%

【1年生】前回より進路希望が**未定の生徒が増えました**。自分に合った学校や仕事の見つけ方が分からないという生徒もいるようです。どんな職業があるのか、どんな学部や学科があるのかを夢ナビ等を活用して調べながら、自分の心が引かれるものを探してみましょう。

【2年生】前回より進路希望が**未定の生徒が増えました**。また、学校や入試制度に関する情報が不足していたり、自分の興味・関心が分からなかったりする生徒が多いようです。担任や進路指導部の先生に相談したり、家族と話し合ったりして、3年生になる前に進路についてじっくり考える時間を作りましょう。

【3年生】中には既に進路が決まった生徒もいますが、**合格・内定がゴールではありません**。やっとスタートラインに立てたという気持ちで、卒業までに、基礎学力を確実に定着させるための学習や、進路先の専門分野の学習に励みましょう。これから受験の生徒は、今できることに全力で取り組みましょう。

○学習時間

学習時間		1時間未満	1～2時間	2～4時間	4時間以上
1年	平日	69.2%	27.7%	3.1%	0.0%
	休日	58.5%	36.9%	4.6%	0.0%
2年	平日	87.5%	9.4%	2.1%	1.0%
	休日	66.7%	27.1%	6.3%	0.0%
3年	平日	59.4%	20.3%	14.5%	5.8%
	休日	49.3%	23.2%	8.7%	18.8%

【1年生】学習時間が1時間未満の生徒が過半数です。各教科から与えられている課題や、到達度テストの連動課題配信の他に、その日の授業の復習や苦手分野克服のための学習など、今自分に必要なことを自分で考え、主体的に取り組む力を付けておきましょう。検定や資格取得にも積極的にチャレンジしましょう。



【2年生】前回（4月）と比べ、平日・休日ともに学習時間が2～4時間以上の生徒が増えましたが、1時間未満の生徒が依然としてかなり多い状況にあります。このままでは進路実現に必要な最低限の学力も、受験のための体力も身に付きません。現状に危機感をもって、“今”変わらなければなりません。

【3年生】進路未決定者は気を緩めることなく、引き続き受験勉強に励みましょう。進路決定者も油断は禁物です。到達度テストや定期考査の結果を見直し、今までの学習内容がしっかりと定着しているかを確認しましょう。進学・就職先で必要な知識も、今のうちから身に付けておきましょう。

※ 進学を目指す生徒の1日の学習時間は、学年＋1時間です。
(土日は＋2時間)

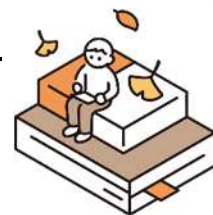
進路希望調査では、「勉強の方法がわからない」と回答している生徒も多く見受けられました。まずは教科から与えられている課題や到達度テストの連動課題に確実に、丁寧に取り組みましょう。そして、勉強方法や自分のすべきことがわからない場合には、教科担任にどんどん質問に行きましょう！

10月20日配信の連動課題の取り組み状況

連動課題 提出済みの割合		国語	数学	英語
1年	普通科	82.9%	83.3%	80.0%
	総合学科	30.2%	37.5%	
2年	普通科	45.1%	43.1%	49.0%
	総合学科		17.5%	20.0%
3年	普通科	66.7%	31.4%	66.7%
	総合学科	32.3%	38.2%	51.5%

「徳高コラム」のススメ

2学期から「徳高コラム」が始まりました。「徳高コラム」は、さまざまな分野の文章を読むことを通して、文章の主題や筆者の主張を「正確に読み取る力」や自分の意見を「言葉にする力」を伸ばすことを目的とした取り組みです。



「徳高コラム」の素材文は、毎週異なる先生たちが、「今皆さんに読んでほしい」文章やテーマについて、新聞記事やネットニュース等の中から選出しています。そのため、「徳高コラム」に取り組むことで、さまざまな分野の時事に関する知識を増やすこともできます。

進路希望調査の結果を見ても、自分の興味のある分野が分からない生徒や、希望が固まっていなくても何を勉強すればいいか分からない生徒もいるようです。ぜひ、「徳高コラム」の取り組みを通して、興味を引かれる学問分野や職業を見つけたり、関心のある分野の知見を広げ、理解を深めたりしてくださいね。

💡 「徳高コラム」の効果的な取り組み方

- ① 本文を読む。
- ② 事実を述べている箇所に実線 _____ を引く。
- ③ 筆者の意見を述べている箇所に波線 _____ を引く。
- ④ この文章で最も重要だと考えられるところに☆印をつける。
- ⑤ 下の設問に答える。
意見を書くときには、なぜそう考えたのか、理由も必ず説明するようにする！
(私は、△△について○○だと考える。なぜなら、□□□□だからだ。)
- ⑥ 先生から返却されたらファイリングし、3年次の小論文対策で活用できるようにしておく！

徳高コラム～論理的思考力を磨く～ (出典：2025年9月5日 日本経済新聞 社説)

※ 9月18日(木)提出 ()年()組()番氏名()

スマートフォンなどのデジタル機器やサービスとう向き合うべきか。愛知県豊明市が議会に提出した条例案が議論を呼んでいる。子どもの長時間利用などに対する懸念が広がるなか、社会的な議論を深める契機とすべきだ。

同市は条例案に、仕事や学習など以外でのスマホの利用を1日2時間以内にとどめ、小学生は利用を午後9時、中学生は午後10時までとすることなどを盛り込んだ。いずれも目安で義務とはせず、罰則も設けない理念条例となる。

デジタル機器やサービスの利用に関するルール整備は欧州などで先行し、学校への持ち込みを禁じるといった動きが出ている。オーストラリアでは16歳未満のSNS利用を禁止し、事業者に罰金を科す法律を年内に施行する。

各地で規制が増えているのは、デジタル機器やサービスの長時間利用が子どもの心身の健康を害し、学力低下につながるといった不安が広がっているためだ。

一方で規制には課題がある。実効性の担保に加え、個人の権利保護との両立も焦点といえる。豊明市にも「自由を奪うのか」といった意見が寄せられており、丁寧な対応が求められる。

こうした問題を自治体に委ねることの是非もある。そもそも日本では欧米に比べてスマホの長時間利用の影響に関する研究が少ない。国が主体となって科学的な知見を深め、対策の起点とすべきだ。

デジタル機器やサービスは社会の基盤となり、生成AI(人工知能)の発達で拍車がかかっている。外的な規制で子どもから活用能力を高める機会を奪わないためにも、保護者や子どもを含む社会全体で規制と利用の適切なバランスを探らねばならない。

事業者の協力も欠かせない。各社は問題を受けて対策を小出しにするといった姿勢を改め、社会のニーズを先取りして動く必要がある。保護者が製品・サービスの利用状況を監視するペアレンタルコントロール機能の改善など自主的にできることも多いはずだ。

